

(土石流被害の防止による評価)

(区分) 国補

事業名	復旧治山(通常)	事業箇所	北杜市武川町宮脇	地区名	中來沢(なかくるさわ)	事業主体	山梨県
(1)事業概要				(3)事業の妥当性評価		妥当	妥当でない
①課題・背景		本箇所は、北杜市武川町宮脇地区内に位置する一級河川小武川の上流に位置しており、近年の集中豪雨により溪流の荒廃が顕著となり、下流新興地区への土砂流出の恐れが高まったため、土砂流出防止対策を早急に実施し、保全対象の保護を図る必要がある。		①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
				・森林法第41条第1項に規定された「保安施設事業」に該当			
②整備目標・効果				②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
□主要目標		○土石流被害の防止 保全対象 人家6戸 林道 2000m 発電所 緊急度・危険度 16≥10点※ 被害軽減額 376≥340 百万円※ (※:評価基準値)		③経済妥当性		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
				費用便益費 便益(B)÷費用(C)= 1.91 >1.0			
				・便益(B)= 212 百万円			・費用(C)= 111 百万円
□副次目標		—		④事業実施・規模の妥当性		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
				・流域内に治山施設が整備されていない。なお、砂防等等施設の計画はない。			
□副次効果		○被災することによって大きな被害波及が懸念される次の施設の保全 ・発電所		⑤整備手法の有効性		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
				・保安林機能の回復を図る目的から治山事業による整備が有効。			
				⑥環境負荷への配慮		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
				・切土盛土面は緑化し、裸地を残さない。 ・使用機械は排ガス対策型とし、環境負荷を低減する。			
				⑦事業計画の熟度		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
				・地元南アルプス市からの強い要望あり。			
				<妥当性評価>			
				・7項目全て妥当であることから、妥当と判断する。			
(2)整備内容と整備量				(4)事業間優先度評価			
①整備内容		谷止工 3基		・貢献度ランク: a			副次効果ランク: 1 優先度評価: SI
②整備期間		平成25年度～平成27年度		(5)総合評価		<input type="radio"/>	<input type="checkbox"/>
③総事業費		約120百万円(国費60百万円(1/2) 県費60百万円(1/2))		・(3)及び(4)の結果から実施			
④全体計画		平成25年度 谷止工 1基 45百万円 平成26年度 谷止工 1基 40百万円 平成27年度 谷止工 1基 35百万円		【事業位置図等			
⑤既整備内容・期間・事業費		なし		省 略			